

倫理委員会議事概要

開催日時 令和2年7月2日(木) 16:00~17:30

場 所 応接室

出席者 大山診療部長(委員長)、小畑事務部長(副委員長)、鈴木看護部長
佐々木外部委員、中村外部委員
(事務担当)村本管理課長

欠席:菅野内科医長、小原神経内科医長

記録:管理課長

進 行 申請者による倫理審査申請の説明、質疑応答

1. <申請者による説明後質疑応答>

1) 新型コロナウイルス感染症流行による患者の心理社会的影響

調査対象者3~5名だと研究成果を活用するにはデータが少ない
データ数によっては複数年の調査も必要
情報の収集はインタビューとなっているがまとめるのが困難ではないか、クローズ
の質問等考えてみてはどうか

2) 食物アレルギー児をもつ母親の思いを知った上での外来看護師の役割

調査の際に医師を通して研究協力を依頼すると患者の立場上断りにくいのではない
か
調査対象者が1~2名では母親の思いを知るにはデータが少ない

3) 小児食物経口負荷試験の看護において看護師が感じる困難感

目的で看護師の困難感を明らかにするとあるが、明らかにしてどうするのか
調査対象者が看護師4名となっているが、同意を得られない場合も考えられるの
で対象者が少ない
インタビューでないとだめか、例えば無記名アンケートなど
→インタビューで具体的なことを引き出して行きたい

- 4) パーソン・センタード・ケアを生かした身体拘束解除の取組み
→学習会を取り入れた前後の身体拘束に対する意識調査 (課題名変更)

調査対象者数の記載がないため人数設定が必要
目的とアンケート内容が一致しない
アンケートが記述式が多くまとめるのが困難ではないか

- 5) 長期臥床患者の口腔内環境の改善を目指して

研究の対象者に看護師の記載と調査対象人数の記載がない

- 6) 急変患者発見時シミュレーション研修による認識の変化

アンケート調査何人以上の回答で本研究が成立するか人数を記入すること

- 7) 倫理カンファレンスの継続性を考える

→重症心身障がい者病棟における倫理カンファレンスの継続性を考える
(課題名変更)

アンケート調査何人以上の回答で本研究が成立するか人数を記入すること
課題名が「倫理カンファレンスの継続性を考える」となっているが、重心病棟での取組なので「重症心身障がい病棟」を課題に入れるべきではないか

- 8) 頸髄損傷により四肢麻痺を呈した高度肥満の症例に対し理学療法が難渋した症例報告

倫理委員会の承認を得る前に本人の同意を得ている。倫理委員会承認後の再度本人からの同意書を得ること。

2. <判定>

全て承認とする。

委員会での審議内容を参考に文言整理を行うこと。